

足立工科高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 数研出版『新編 現代の国語』 ）

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
書き手の意図をつかむ／『目指す世界の地図を作る』 【知識及び技能】 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・地図を作るという比喻に込められた筆者のメッセージを読み取る。 ・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等			○	○				10
書き手の意図をつかむ／チェックポイント①『わかりやすく話す』 【知識及び技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・話題について考え、聞き手に伝わりやすいように内容を工夫する。 ・聞き手を意識し、相手が聞き取りやすいように話す。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト、一人1台端末を使った発表等			○					6
定期考査				○	○				1
文章の展開を把握する／『時間とは何か』 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・具体例を手掛かりに、人間は時間をどのように捉えているのかを読み解く。 ・論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等			○	○				10
文章の展開を把握する／チェックポイント2『メモをつくりながら聞く』 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・発表を聞き、内容や構成に注意しながら聞き取った情報をメモに取る。 ・簡潔な表現で箇条書きにする。 ・理解できなかったことは後で確認できるようにしておく。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等			○	○				6
定期考査				○	○				1
対比を読み取る／『水の東西』 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。 ・日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等			○	○				10

2 学 期	コミュニケーションと言語／『世間話はなぜするか』 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・他者との関係において、世間話や挨拶はどのような意味を持つと述べられているかをつかむ。 ・日常的な言葉のやり取りに着目し、その背景にある知識や話し手の意図を読み取る。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等	○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○		○	○	○	1
	コミュニケーションと言語／チェックポイント3『適切な書式で通知する』 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などを考えるとともに、文章の種類や、文体。語句などの表現を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・手紙と電子メールそれぞれについて書式を知り、適切な通知のしかたについて確認する。 ・重要な情報が明確に相手に伝わるよう工夫する。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等	○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、事柄が的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって通知文を書くこととしている。	○	○	○	10
	言葉の働きをとらえる／『語感トレーニング』 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・日本語の語彙がたどってきた変化を知り、筆者が指摘する現代日本語の特性を理解する。 ・カタカナ語の語感について考える。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等	○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	10
定期考査		○	○		○	○	○	1	
3 学 期	書き手の考えを比較する／『科学と非科学』 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・筆者がどのような点に「科学」と「非科学」の違いがあると主張しているかを読み取る。 ・筆者の意見に対して自分はどう思うのか、根拠を示しながら論理的に述べる。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等	○	○	【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	10
	書き手の考えを比較する/チェックポイント4『必要な情報を整理して書く』 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・読み手が必要とする情報を分かりやすく提示するための工夫を考え、読み手を意識して利用規約を書く。 ・文章を書く目的を意識し、構成や表現を工夫して書く。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト、一人1台端末を使った発表等	○	○	【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く情報が分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って利用規約を書くこととしている。	○	○	○	8
	根拠を読み取る/『『わらしべ長者』の経済学』 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、経済学の考え方を分かりやすく説明しようとする筆者の意図をつかむ。 ・筆者が指摘する「経済学的な考え方」の普遍性について、自分の考えをまとめる。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト等	○	○	【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	10
定期考査		○	○		○	○	○	1	
合計									
105									